



学校だより

九度山町立
九度山中学校

令和3年度

3/24発行



学校 HP

学校教育目標

夢や希望に向かって、自ら考え行動し、地域とともに歩む生徒の育成

春分を過ぎても寒の戻りのため、ここにきて桜前線がゆっくり進んでいるようです。令和3年度も本日24日に修了式を迎え、本年度の主な行事も終了しました。本年度もコロナ禍に対応した生活様式の変化や感染予防対策により、学校行事等の中止や変更により煩勞に追われる1年となりました。このような状況でしたが、無事終了できますことは、保護者や地域の皆様・関係者の皆様のご理解とご協力の賜だと感謝しています。なお、本年度の振り返りである『自己評価報告書』と、学校評議委員の皆様からいただいた『学校関係者評価報告書』は近日中に学校 HP にアップする予定です(『学校関係者評価報告書』の一部を裏面に掲載しています)。ご覧いただき、アドバイス等をいただくと幸いに存じます。来年度も引き続き皆様のご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。(校長：前田)



令和4年3月8日(火) 令和3年度第75回卒業証書授与式を挙行了しました。

卒業生23名は、来賓としてご臨席いただいた岡本町長と西尾PTA会長・在校生・教職員、そして保護者の祝福の拍手の中、次のステップへ歩みを始めました。式辞では、北京オリンピックでのカーリング女子の活躍から、卒業生の皆さんがこれから進む社会には絶対的な答えはなく、自分たちの知恵をもちより、みんなが納得する答えを見つけていくことが必要な場面に多く出会います。そんなときには、まず自分で考え、自分の考えが他の人にも納得してもらえるアイデアや伝えるためのコミュニケーションが必要になるということ等を述べさせていただきました。なお、卒業生は全員希望する高校に合格し、4月からは高校生としての活躍が期待されます。

皆さんの限りない前途に、幸多きことを祈念いたします。(九度山中学校職員一同)

■主な行事予定

3	24	木	生徒総会 修了式	4	7	木	春季休業終了
月	25	金	春季休業開始	月	8	金	新任式 始業式 入学式

※本年度も、新型コロナウイルス感染予防のため離別式は行いません。保護者の皆様には、教職員の異動については学校メールでお知らせします。

■令和3年度自己評価報告書（抜粋）

7	保護者・地域との連携、学校行事等について	<p>保護者や地域の方と連携するためには、お互いのことを分かり合うことが重要だと考える。特にコロナ禍においては、人が集まることに制限があり、直接ふれあう機会が少なくなっているため、学校の様子等を伝えるための方法として、学校ホームページでは行事予定・授業や学校行事の様子を伝えたり、学校だよりや学年だより等の配付物のデータを積極的にアップしたりするようにした。また、「学校だより」で校長の思いや生徒の活動の様子等を知らせるために、保護者だけでなく九度山中学校区の各地区に回覧物として発信した。保護者の考えを知るため、学校評価アンケートを年間2回実施し、いただいた質問や意見を真摯に受け止め、改善等の必要があるものについては速やかに実施したり、疑問に対して回答したりした。</p> <p>.....</p> <p>コロナ禍のなか、本年度も学校行事は中止されたり、形を変えて実施されたりしたが、生徒は、学校行事に熱心に取り組んだ（学校評価アンケート）。コロナ後の新しい学校像を考えると、学校をリデザインするきっかけにしたいと考える。これまでのどの行事も生徒にとっては有益なものではあるが、授業時間や労力のコストと効果の関係や、教職員の働き方改革という観点からもさらに見直していきたいと考える。</p>
---	----------------------	---

■令和3年度学校関係者評価報告書（抜粋）

1	教育目標、教育課程、教科指導に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で活動制限のある中、教育目標達成に向けて特に地域や家庭との連携をより密にするためにも、学校の取り組みやその狙いについて理解し協力してもらい取り組みについて考えていただきたい。 ・「九中タイム」を設定し生徒個々がその日の授業の振り返りを行い家庭学習に生かしているのはとてもいいと思います。 ・アンケートの結果を見せていただいた限り、全体的に高い評価をしてもらっていると感じます。やらなければならないことは多岐にわたりますが、国語力を中心とした基本的な学力の向上を目指していただきたいと思います。 <p>.....</p>
3	生徒指導、進路指導に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒とのつながりを深め、全教職員で共通理解したうえで生徒指導に取り組むとともに、外部機関と連携しながらより良い指導方法を工夫し実践されているのはとてもいいと思います。キャリア教育については、近い将来の現状を見据えた指導のあり方を考えて行かなければならないと私も思っています。 ・集団生活ですから人間関係の難しさがあるのは当然です。いじめ等を起こさせてはいけないという大人の思いも理解できますが、起こったときの大人の親身な対応が心に残ると思います。進路については、子供に「やればできる」という気持ちを芽生えさせる方向の工夫を期待します。 <p>.....</p>